

『平成18年度施策実施状況調書』

施策名	(施策16) 国家公務員の高齢対策と再就職の適正化		担当部局名	人事・恩給局総務課 公務員高齢対策課		
施策の概要	高齢社会の到来による高齢国家公務員の雇用の計画的推進、退職後の生活にスムーズに適用できるような支援、国家公務員の再就職状況の透明性の確保を図ることにより、国家公務員の適正な人事管理の推進に資するもの。また、これらの方策の推進状況を把握するため以下の指標を設定。					
主な指標の状況	主な指標等	目標値	目標年度	15年度	16年度	17年度
	国家公務員高齢者雇用促進に関する方針の推進状況					
	早期退職償行の是正状況	平均勸奨退職年齢を3歳以上引上	20年度			
	各府省の退職準備・生涯生活設計プログラム担当者に対するアンケートの結果、参考となるとした者の割合	80%	17年度			約76%
	再就職状況の公表状況等			平成15年12月25日公表	平成16年12月27日公表	平成17年12月26日公表
	試行人材バンクの求人登録件数			8件	5件	19件
	試行人材バンクの再就職成約件数			1件	—	—
施策の主な実施手段の状況	予算執行を主とするもの	事業名	概要	15年度	16年度	17年度
		退職準備プログラム等の導入推進	各府省の担当者に対する講習会及び高齢期にある職員に対するセミナーの開催	6百万円	6百万円	5百万円
	人材バンクシステム化の推進	再就職の公正・透明化を図るための人材バンクを本格的に導入するため、情報システム化を推進する。	13百万円	9百万円	9百万円	
	制度の企画・運用を主とするもの	項目	概要			
	情報提供等を主とするもの、その他	項目	概要			
高齢国家公務員の雇用の推進		・「国家公務員高齢者雇用推進に関する方針」に沿って、国家公務員高齢者雇用推進専門部会を開催することなどにより、再任用制度の活用に係る取組方針の周知等、必要な情報交換等を実施。 ・各府省においては、これらを踏まえて、職員等への再任用制度の周知等を実施。				
	再就職状況の公表等	各府省の課長・企画官相当職以上の退職者の再就職状況及び独立行政法人等の役員に就いている退職公務員等の状況を毎年度公表。				
(業務改善への取組状況)						
・退職準備・生涯生活設計プログラム講習会に対する各府省担当者の参考度等を把握することにより、プログラム構成を一部変更するなど、次回講習会の内容の充実に向けた検討を行った。 ・試行人材バンクにおいては、人材情報データの更新を行い最新情報の維持を図るとともに、教育分野に関する新規求人開拓等、積極的な周知活動を実施したほか、情報システムの機能見直し等、運用経費縮減のための検討を行った。						
本施策に関する課題等の状況	高齢者雇用の推進:引き続き、再任用制度の円滑な実施のために必要な準備を計画的に進めるなど、「国家公務員高齢者雇用推進に関する方針」に沿って、高齢国家公務員の雇用に推進。	予	制	事		
	退職後の生活設計等に対する支援の充実:職員のライフスタイルの多様化等を踏まえて、退職後の生活をも視野に入れた職員の生活設計を支援する退職準備プログラム等について、その効果的な実施のための検討を進めるとともに、施策の内容の充実を図る。	予	制	事		
	再就職の公正性・透明性の確保:再就職状況の公表及び独立行政法人等の役員に就いている退職公務員等の状況の公表の作業の円滑化を引き続き進める必要がある。	予	制	事		
	再就職の公正性・透明性の確保:引き続き、人材バンクの本格導入に向けて、試行人材バンクの着実な運用と必要に応じた機能等の見直しを図るとともに、積極的な周知活動や求人開拓を行うことが重要である。	予	制	事		
本施策に関する専門家の意見等	早稲田大学大学院公共経営研究科の山田治徳教授に御意見を伺ったところ、試行人材バンクについては、成約件数が伸びない原因が仕組み自体にあるのか、運用にあるのかを把握・検討した上で、今後の施策展開を考えていくことが重要ではないか、との御指摘をいただいた。(平成18年5月16日)					
本施策に関する主な資料	人事管理運営方針の実施状況調査結果 等					